

14) リンパ・血液	(リンパ・造血組織/C81-C96)
15) 骨	(骨・関節軟骨/C40-C41)
16) 皮膚	(皮膚/C43-C44)
17) 中皮腫	(中皮腫/C45)
18) 肉腫・腹膜・後腹膜	(カボジ肉腫・末梢神経・自律神経・後腹膜・腹膜/C46-C49)
19) 原発不明	(原発不明/C76-C80)
99) 不明	相談者自らが明確にせず、また、相談員も確認を行わなかった場合に選択。がん以外(がんの診断未)も含める。

7.相談内容

<b>実施したすべて選択 (複数選択可)</b>	←相談者の相談内容に関連する項目すべてを選択。(複数選択可)
<b>最も比重の高かった項目を選択</b>	←複数回答した項目のうち、最も比重が高い項目を1つだけ選択。(単数回答)
1) がんの治療	がんに関する「治療」についての相談に対応した場合に選択。
2) がんの検査	がんに関する「検査」についての相談に対応した場合に選択。
3) 症状・副作用・後遺症	がんに関する「症状・副作用・後遺症」についての相談に対応した場合に選択。
4) セカンドオピニオン (一般)	「セカンドオピニオンとはどのようなことか」など、セカンドオピニオン一般に関する相談に対応した場合に選択。
5) セカンドオピニオン (受入)	相談員が所属する施設(自施設)で実施されているセカンドオピニオンに関する相談に対応した場合に選択。
6) セカンドオピニオン (他へ紹介)	他施設で実施されているセカンドオピニオンに関する相談に対応した場合に選択。
7) 治療実績	特定の部位の症例数、特定の治療法・術式の実施状況についての相談に対応した場合に選択。
8) 受診方法・入院	受診までの流れ・予約方法・診療科・入院・入院生活などについての相談に対応した場合に選択。
9) 転院	治療・療養の場の変更に関する相談に対応した場合に選択。
10) 医療機関の紹介	どこの医療機関で、治療・ケア・療養が受けられるか等の相談に対応した場合に選択。
11) がん予防・検診	「がん予防・検診」についての相談に対応した場合に選択。
12) 在宅医療	在宅医療の提供を受けるには、その実際についてなど「在宅医療」についての相談に対応した場合に選択。
13) ホスピス・緩和ケア	ホスピス・緩和ケアの提供を受けるには、その実際についてなど「ホスピス・緩和ケア」についての相談に対応した場合に選択。
14) 症状・副作用 ・後遺症への対応	現在何らかの症状があり、その不安や日常生活に関する相談に対応した場合に選択。
15) 食事・服薬・入浴 ・運動・外出	がんを抱えての「食事・服薬・入浴・運動・外出」などについての相談に対応した場合に選択。
16) 介護・看護・養育	がんを抱えての親や子どもなどの「介護・看護・養育」などについての相談に対応した場合に選択。
17) 社会生活 (仕事・就労・学業)	がんを抱えての社会生活「仕事・就労・学業」などについての相談に対応した場合に選択。
18) 医療費・生活費 ・社会保障制度	がんを抱えての「医療費・生活費・社会保障制度」などについての相談に対応した場合に選択。
19) 補完代替療法	がんを抱えての「補完代替療法」についての相談に対応した場合に選択。

20) 不安・精神的苦痛	がんに伴い生じる漠然とした不安や、強い精神的苦痛に関する相談に対応した場合に選択。
21) 告知	告知に関連する相談に対応した場合に選択。
22) 医療者との関係 ・コミュニケーション	医療者との関係やコミュニケーションについての相談に対応した場合に選択。
23) 患者－家族間の関係 ・コミュニケーション	患者－家族間の関係やコミュニケーションについての相談に対応した場合に選択。
24) 友人・知人・職場の人間 関係・コミュニケーション	友人・知人・職場の人間関係・コミュニケーションについての相談に対応した場合に選択。
25) 患者会・家族会 (ピア情報)	同じような状況の人と話してみたいなど「ピア情報」(患者会・家族会やNPO、セミナー等)についての相談に対応した場合に選択。
88) その他	上記1)～25)の項目に該当しない場合に選択。内容について( )内に具体的に記入。
99) 不明	相談内容が不明な場合に選択。

#### 8.対応内容

<b>実施したすべて選択 (複数選択可)</b>	←相談者の相談内容に関連する項目すべてを選択。(複数選択可)
<b>最も比重の高かった項目を選択</b>	←複数回答した項目のうち、最も比重が高い項目を1つだけ選択。(単数回答)
1) 傾聴・語りの促進 ・支持的な対応	話を傾聴し、語りを促進する対応を行った場合、支持的な対応をした場合に選択。
2) 助言・提案	何らかの助言・提案を行った場合に選択。
3) 情報提供	医学的、心理社会的な内容等、何らかの情報提供を行った場合に選択。
4) 自施設受診の説明	自施設の受診方法について説明した場合に選択。
5) 他施設受診の説明	他施設の受診方法について説明した場合に選択。
6) 自施設他部門への連携	自施設の他部門に紹介するなど、他部門との連携を図った場合に選択。
7) 他施設への連携	他の医療機関に紹介するなど、他施設との連携を図った場合に選択。
8) その他	上記1)～7)の項目に該当しない場合に選択。内容について( )内に具体的に記入。
9) 判断不明	対応内容が判断できない場合に選択。

#### 9.評価

<b>●相談支援センターに関する情報 入手経路</b>	
1) 医療機関スタッフ	医療機関のスタッフから相談支援センターの情報を得ている場合に選択。
2) パンフレット	パンフレットから相談支援センターの情報を得ている場合に選択。
3) 家族・友人・知人	家族・友人・知人から相談支援センターの情報を得ている場合に選択。
4) インターネット	インターネットから相談支援センターの情報を得ている場合に選択。
5) 同病者やその家族 ・患者会	同病者やその家族・患者会から相談支援センターの情報を得ている場合に選択。
8) その他	上記1)～5)の項目に該当しない場合に選択。内容について( )内に具体的に記入。
9) 不明	相談者自らが明確にせず、また、相談員も確認を行わなかった場合に選択。

●対応内容への評価	
1)役に立つ	「役に立った」との評価であった場合に選択。
2)役に立たない	「役に立たなかった」との評価であった場合に選択。
3)どちらでもない	「どちらでもない」との評価であった場合に選択。
9)判断不明	相談者自らが明確にせず、また、相談員も確認を行わなかった場合に選択。
●相談支援センターの今後の活動についての要望	相談支援センターの今後の活動に関する要望が得られた場合、内容について( )内に具体的に記入。

ここであげた相談記入シート上の項目は、以下の3つを目的としています。

1. 相談支援センターで対応している相談者の分布(実態)を把握するため
2. どのような「がん情報」を優先的に作成していくかについて基礎データを得るため
3. 相談者から提供した情報や支援についてのフィード・バックを受けることにより、サービスの向上とその意識をもつため

記入に際しては、忙しい業務の中でむずかしいかもしれませんが、できるだけ相談者に聞くようにしてください。

例:「相談支援センターの今後のサービス向上のため、いくつか質問させていただけないでしょうか」

⑤ 症例報告書及び指導責任者指導内容

1	相談内容の概要		
2	対応の概略		
3	感想		
4	倫理的側面		
	ナビゲータであることを説明した	<input type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> いいえ
	個人情報の取り扱いに留意した	<input type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> いいえ
	守秘義務があることを明言し守れた	<input type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> いいえ
	医療介入を行わなかった	<input type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> いいえ
5	指導責任者評価		
	<input type="checkbox"/> 優	<input type="checkbox"/> 良	<input type="checkbox"/> 可
	<input type="checkbox"/> 不可	<input type="checkbox"/> 判定不能	
	指導責任者のコメント		

【資料5. 認定がん医療ネットワークナビゲーター 教育研修セミナー：Aセッション 群馬開催プログラム】

公益財団法人 日本対がん協会  
厚生労働科学研究（がん政策研究事業）推進事業

## がん医療従事者研修説明会

平成26年 9月13日(土) 午後2時 - 午後4時

群馬大学医学部 刀城会館

後援 一般社団法人日本癌治療学会 公益社団法人日本医師会  
公益社団法人日本看護協会 公益社団法人日本薬剤師会

「がん医療ネットワークナビゲーター：育成制度と資格認定」  
プログラム

司会 竹吉 泉

(群馬大学大学院臓器病態外科学 教授 日本癌治療学会：がん診療連携委員会/  
認定ネットワークナビゲーター制度委員会 委員)

➤ 14：05～14：10

『がん診療ナビゲーターの役割』

西山 正彦

(群馬大学大学院病態腫瘍薬理学 教授 日本癌治療学会 理事長)

➤ 14：10～14：15

『群馬県のがん対策推進事業』

山崎 浩通

(群馬県健康福祉部 がん対策推進室 室長)

➤ 14：15～14：25

『がん診療連携バスの運用と実態』

齋藤 繁

(群馬大学大学院麻酔神経科学 教授 地域医療・患者支援 (兼) 教授)

➤ 14：25～14：35

『がん診療ナビゲーター認定基準と研修プログラム』

桑野 博行

(群馬大学大学院病態総合外科学 教授)

➤ 14：35～14：45

『群馬研修モデルの特徴と研修申し込み手続きについて』

浅尾 高行

(群馬大学大学院がん治療臨床開発学講座 特任教授)

➤ 休憩

➤ 15：00～15：30

『医師をサポートする専門スタッフの育成トレーニングの効果と実務』

川島 史子

(日本医療コンシェルジュ研究所 特別顧問・シニアコンシェルジュ)





【2014年開催教育セミナー】

- 群馬 ●日時：平成26年9月13日（土）14:00～16:00 場所：群馬大学医学部（昭和キャンパス）刀城会館
1. 「がん診療ナビゲーターの役割」 西山 正彦（群馬大学大学院病態腫瘍薬理学）
  2. 「群馬県のがん対策推進事業」 山崎 浩通（群馬県健康福祉部 がん対策推進室 室長）
  3. 「がん診療連携バスの運用と実態」 齋藤 繁（群馬大学大学院麻酔神経科学）
  4. 「がん診療ナビゲーター認定基準と研修プログラム」 桑野 博行（群馬大学大学院医学系研究科病態総合外科学）
  5. 「群馬研修モデルの特徴と研修申し込み手続きについて」 浅尾 高行（群馬大学大学院医学系研究科がん治療臨床開発学）
  6. 「医師をサポートする専門スタッフの育成トレーニングの効果と実務」 川島 史子（日本医療コンシェルジュ研究所 特別顧問・シニアコンシェルジュ）
- 福岡 ●日時：平成26年10月26日（日）13:00～16:00 場所：福岡国際会議場
1. 「がん医療ネットワークナビゲーター制度とは」 西山 正彦（群馬大学大学院医学系研究科病態腫瘍薬理学）
  2. 「ナビゲーターに必要な知識①（基礎編）：EBMと臨床試験」 調 憲（九州大学大学院消化器・総合外科学）
  3. 「ナビゲーターに必要な知識②（基礎編）：患者リテラシーと情報収集法」 佐々木 治一郎（北里大学医学部新世紀医療開発センター横断的医療領域開発部門）
  4. 「ナビゲーターに必要な知識③（応用編）：がん相談支援の実際」 竹山 由子（九州がんセンター）
  5. 「デモンストレーション」 北嶋 晴彦（大牟田市立病院）、織田 久美子（社会保険 田川病院）
  6. 「パネルディスカッション」
- 熊本 ●日時：平成26年12月7日（日）9:00～12:00 場所：くまもと県民交流会館パレオ
1. 「がん医療ネットワークナビゲーター制度とは」 片淵 秀隆（熊本大学大学院生命科学部産科婦人科学分野）
  2. 「EBMと臨床試験」 吉田 稔（日本赤十字社熊本赤十字病院腫瘍内科）
  3. 「リテラシーとインターネット情報」 佐々木 治一郎（北里大学医学部新世紀医療開発センター横断的医療領域開発部門）
  4. 「がん相談支援において必要な知識とスキル」 稗田 君子（熊本大学医学部附属病院がん相談室）
  5. 「デモンストレーション」 堀田 めぐみ（がんサロンネットワーク熊本）、里山 弘子（熊本県私のカルデアがん診療センター）

「がん医療ネットワークナビゲーター制度」とは？

【定義】

がん医療を受けるために必要な医療関連情報、生活支援情報等に関する適切な助言・提案・支援を行うに十分な知識と素養を習得した者である。ただし、医療介入に関してはこれを禁ずる。

【業務規定】

- (1) 地域におけるがん診療情報や医療サービス情報を収集する。
- (2) がん患者・家族等の求めに応じ、がん診療情報や医療サービス情報を適切に提供する。
- (3) 地域連携クリティカルパスの運用支援を行う。
- (4) 臨床試験・治験に関する情報を適切に提供する。
- (5) 医療介入またはこれに相当する可能性のある行為は行わない。

【申請資格】

- 申請時前3年の間に(1)～(4)をすべて満たしていること；
1. 指定されたe-ラーニングシステムにおいて30科目を聴講し、すべての小テストを受験し合格し、修了証を取得していること。
  2. ①、②、③のうちいずれか1つに参加し受講証を取得していること。
    - ①Aセッション：教育研修セミナー、Bセッション：コミュニケーションスキルセミナー
    - ②「がん相談支援センター相談員基礎研修」または「がん総合相談研修プログラムがんサロン編「より良いグループ・サポートを進めるために」」を期して開催される研修会
    - ③その他、日本癌治療学会が認めるセミナー、研修会など
  3. 日本癌治療学会の定める研修施設において実施研修をし、指導責任者による証明がなされていること。
  4. 申請時にかん医療に関わる地域医療ネットワークに参加している施設・組織に所属していること。

【費用】

e-ラーニング受講認定証発行 10,000 円  
セミナー受講料 8,000 円～10,000 円  
審査申請料 5,000 円  
認定料 10,000 円

【運営・主催】

日本癌治療学会 がん診療連携委員会、認定ナビゲーター制度委員会

【本件に関するお問い合わせ】

一般社団法人日本癌治療学会 東京事務所・花田 Tel：03-5542-0546 Fax：03-5542-0547 e-mail：navi@jSCO.or.jp

今までとは違う形で医療に携わりたい!

がん医療に関わる仕事をしたい!

厚生労働科学研究(がん政策研究)推進事業  
がん医療従事者向け研修会

## がん医療ネットワークナビゲーター: 育成制度と資格認定

平成26年度厚生労働科学研究費補助金(がん政策研究事業)  
がん医療ネットワークナビゲーターによるがん医療情報提供強化プロジェクト:  
情報が確実に手元に届く地域連携モデルの構築(H26-がん政策-一般-007)

- ◆ 日程: 平成**26**年**9**月**13**日(土)
- ◆ 時間: **14:00~16:00**
- ◆ 会場: **群馬大学医学部 刃城会館**
- ◆ 主催: **群馬大学大学院 病態腫瘍薬理学**  
**群馬大学大学院 病態総合外科学**

公益財団法人 日本対がん協会 がん対策推進総合研究推進事業

がん診療連携において、主治医と患者の間に立つて円滑かつ確実なサポートを行うために必要な知識を学び、同時に即戦力となるようなスキルを磨きます。  
まずはこの説明会に参加をし、日本の未来医療を担う新しい仕事について知ってください。  
今まで医療の仕事に携わったことがない方でも大丈夫。年齢性別も問いません。  
たくさんの方のご参加をお待ちしております。

◆ 【連絡先】 群馬大学 がん治療臨床開発学講座 【担当】 松井 由佳 ◆

【TEL】027-220-8224 【FAX】027-220-8230 【e-mail】 yukamats@gunma-u.ac.jp

【資料6. 認定がん医療ネットワークナビゲーター 教育研修セミナー：Aセッション 福岡開催プログラムおよび会場風景】



一般社団法人日本癌治療学会  
がん医療ネットワークナビゲーター教育研修セミナー in FUKUOKA  
プログラム

日 時：平成 26 年 10 月 26 日（日） 13:00～16:00

会 場：福岡国際会議場 中会議室 411+412

- |             |   |
|-------------|---|
| 総合司会        | 相羽 恵介<br>(東京慈恵医科大学内科学講座腫瘍・血液内科/認定ナビゲーター制度委員会委員長)  |
| 13:00       | 開会挨拶<br>前原 喜彦 (九州大学大学院消化器・総合外科学/日本癌治療学会前理事長)  |
| 13:05～13:30 | 「がん医療ネットワークナビゲーター制度とは」<br>西山 正彦 (群馬大学大学院病態腫瘍薬理学教授/日本癌治療学会理事長)   |
| 13:30～13:50 | 「ナビゲーターに必要な知識①(基礎編)」：EBM と臨床試験<br>調 憲 (九州大学大学院消化器・総合外科学)  |
| 13:50～14:20 | 「ナビゲーターに必要な知識②(基礎編)」：患者リテラシーと情報収集法<br>佐々木 治一郎 (北里大学医学部新世紀医療開発センター横断的医療領域開発部門)                             |
| 休憩          | 10分   |
| 14:30～15:00 | 「ナビゲーターに必要な知識③(応用編)」：がん相談支援の実際<br>竹山 由子 (九州がんセンターがん相談支援センター)  |
| 15:00～15:30 | 「デモンストレーション」<br>北嶋 晴彦 (大牟田市立病院地域医療連携室)<br>織田 久美子 (社会保険田川病院患者相談情報センターがん相談支援センター)<br>岩崎 瑞枝 (ファイナルステージを考える会) |
| 15:30～15:50 | パネルディスカッション   |
| 15:50～16:00 | 最後に<br>片淵 秀隆<br>(熊本大学大学院生命科学研究部・産科婦人科学分野/がん診療連携委員会委員長)  |

# 「がん医療ネットワークナビゲーター」

## 教育研修セミナーin 福岡

主催： 一般社団法人日本癌治療学会

開催日時：平成 26 年 10 月 26 日（日） 13:00～16:00

開催場所：福岡国際会議場 中会議室 411+412

総合司会 相羽 恵介

（東京慈恵医科大学内科学講座 腫瘍・血液内科/認定ナビゲーター制度委員会委員長）

13:00～

開会挨拶

前原 喜彦

（九州大学大学院消化器・総合外科学/日本癌治療学会前理事長）

13:05～13:30

「がん医療ネットワークナビゲーター制度とは」

西山 正彦

（群馬大学大学院病態腫瘍薬理学教授/日本癌治療学会理事長）

13:30～13:50

「ナビゲーターに必要な知識①（基礎編）」：EBM と臨床試験

調 憲

（九州大学大学院消化器・総合外科学）

13:50～14:20

「ナビゲーターに必要な知識②（基礎編）」：患者リテラシーと情報収集法

佐々木 治一郎

（北里大学医学部新世紀医療開発センター横断的医療領域開発部門）

休憩

10分

14:30～15:00

「ナビゲーターに必要な知識③（応用編）」：がん相談支援の実際

竹山 由子

（九州がんセンターがん相談支援センター）

15:00～15:30

「デモンストレーション」

北嶋 晴彦

（大牟田市立病院地域医療連携室）

織田 久美子

（社会保険田川病院患者相談情報センターがん相談支援センター）

15:30～15:50

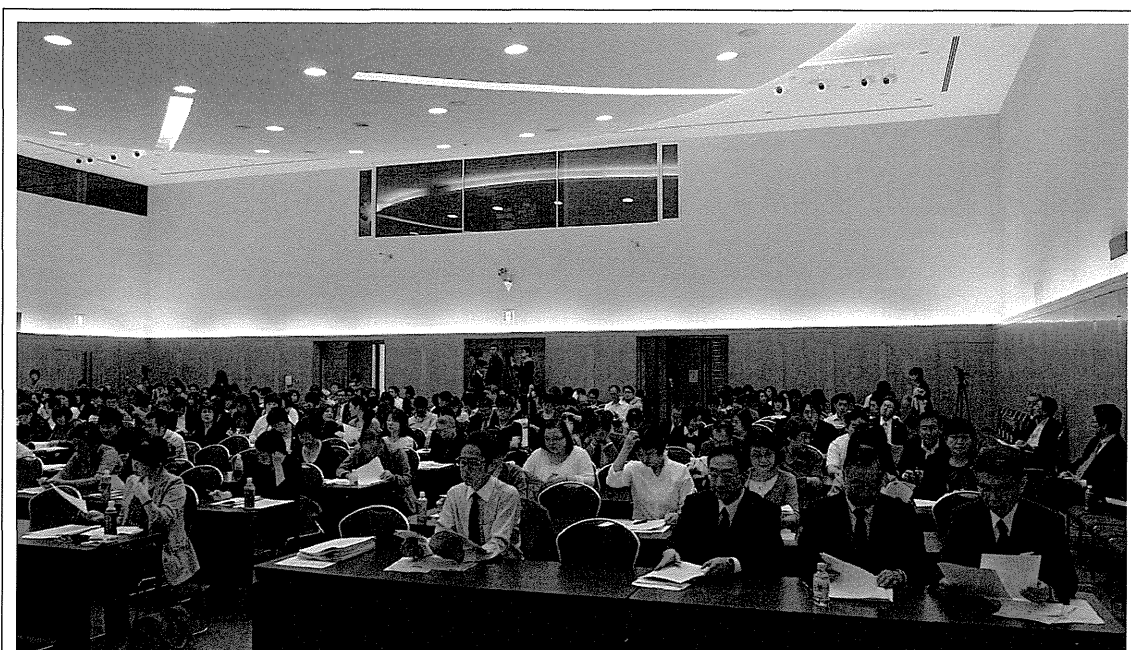
パネルディスカッション

15:50

最後に

片淵 秀隆

（熊本大学大学院生命科学研究部・産科婦人科学分野/がん診療連携委員会委員長）



【資料7. 認定がん医療ネットワークナビゲーター 教育研修セミナー：Aセッション 熊本会場ハンドアウト】

厚生労働科学研究（がん対策研究）推進事業 がん医療従事者向け研修会  
「がん医療ネットワークナビゲーター教育研修セミナー in 熊本」

主催：厚生労働省科学研究費補助金がん対策推進総合研究事業研究班  
共催：公益財団法人日本対がん協会、一般社団法人日本癌治療学会  
後援：熊本県、熊本県医師会、熊本県薬剤師会、熊本県看護協会  
熊本県がん診療連携協議会相談支援・情報連携部会、熊本大学医学部附属病院  
熊本県「私のカルテ」がん診療センター

開催日時：平成 26 年 12 月 7 日（日）午前 9 時～午後 12 時

開催場所：くまもと県民交流館パレア（テトリアくまもと 10F ホール）

【司会】

片瀧 秀隆（熊本大学大学院生命科学研究部産科婦人科学 教授  
日本癌治療学会がん診療連携委員会委員長）

- 9:00～ 開会の挨拶  
西山 正彦（群馬大学大学院医学系研究科病態腫瘍薬理学 教授  
日本癌治療学会理事長）  
川本 利恵子（公益財団法人日本看護協会 常任理事）
- 9:05 ～ 9:30 『がん医療ネットワークナビゲーター制度とは』  
西山 正彦（群馬大学大学院医学系研究科病態腫瘍薬理学教授  
日本癌治療学会理事長）
- 9:30 ～ 10:00 『EBM と臨床試験』  
吉田 稔（日本赤十字社熊本赤十字病院 血液腫瘍内科 部長）
- 10:00 ～ 10:30 『リテラシーとインターネット情報』  
佐々木 治一郎（北里大学医学部新世紀医療開発センター 教授）
- ≪ 休憩 ≫ 20 分
- 10:50 ～ 11:20 『がん相談支援において必要な知識とスキル』  
稗田 君子（熊本大学医学部附属病院がん相談支援センター長）
- 11:20 ～ 11:50 『デモンストレーション』  
境 健爾（済生会熊本病院腫瘍・糖尿病センター 部長）  
堀田 めぐみ（がんサロンネットワーク熊本 代表理事）  
里山 弘子（熊本県「私のカルテ」がん診療センター）  
緒方 美穂（熊本市民病院がん相談支援センター長）  
穴井 あゆみ（熊本市民病院地域医療連携室）  
山下 貴容子（熊本大学医学部附属病院がん相談支援センター）  
上井 真理（熊本大学医学部附属病院がん相談支援センター）
- 11:50 ～ 12:00 質疑応答
- 閉会の挨拶  
富田 尚裕（兵庫医科大学外科学講座 下部消化管外科 教授  
日本癌治療学会 P A L プログラムワーキンググループ委員長）  
相羽 恵介（東京慈恵会医科大学内科学講座腫瘍・血液内科 教授  
日本癌治療学会認定ナビゲーター制度委員会委員長）



## がん医療ネットワークナビゲーター教育研修セミナー in 熊本

### 資料目次

1. がん医療ネットワークナビゲーター制度とは..... 1  
西山 正彦  
群馬大学大学院医学系研究科病態腫瘍薬理学教授／日本癌治療学会理事長
2. ナビゲーターに必要な知識①：EBMと臨床試験..... 19  
吉田 稔  
日本赤十字社熊本赤十字病院 血液腫瘍内科 部長
3. ナビゲーターに必要な知識②：リテラシーとインターネット情報..... 34  
佐々木 治一郎  
北里大学医学部新世紀医療開発センター 教授
4. がん相談支援において必要な知識とスキル..... 49  
稗田 君子  
熊本大学医学部附属病院がん相談支援センター長
5. デモンストレーション..... 61  
境 健爾  
済生会熊本病院腫瘍・糖尿病センター 部長  
堀田 めぐみ  
がんサロンネットワーク熊本 代表理事  
里山 弘子  
熊本県「私のカルテ」がん診療センター  
緒方 美穂  
熊本市民病院がん相談支援センター長  
穴井 あゆみ  
熊本市民病院地域医療連携室  
山下 貴容子  
熊本大学医学部附属病院がん相談支援センター  
上井 真理  
熊本大学医学部附属病院がん相談支援センター

平成26年12月7日  
くまもと県民交流館バレア

# がん医療ネットワークナビゲーター 制度とは

西山正彦



群馬大学大学院医学系研究科病態腫瘍薬理学  
教育研究支援センター医療開発医科学部門  
医学部附属病院トランスレーショナルリサーチセンター

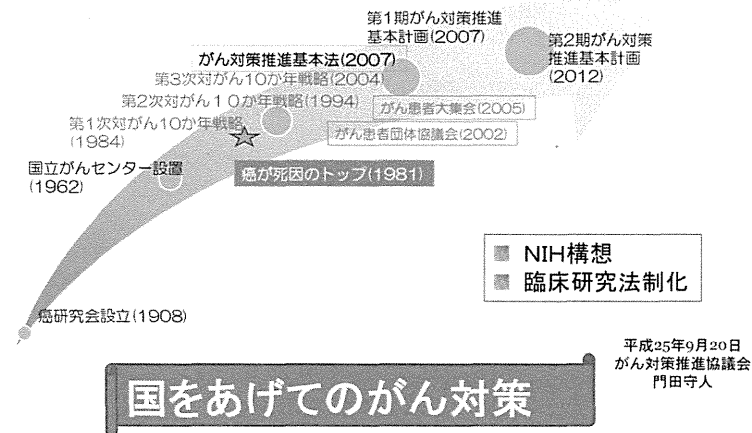


日本癌治療学会



## がん対策の歩み

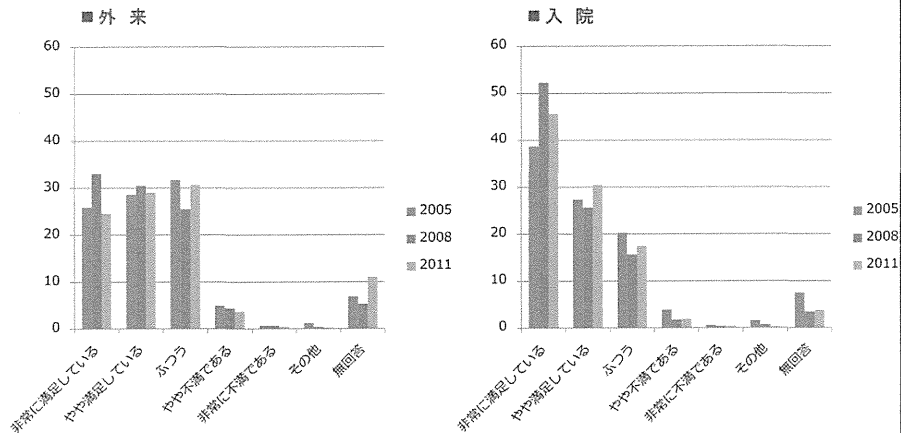
### わが国のがん対策の歩み





## 診療・治療内容に対する満足度

- 必ずしも「非常に満足している」患者が増えているわけではない。
- 外来より入院で「非常に満足している」頻度が高い。



(厚生労働統計一覧 平成23年 受療行動調査 関連集計 2011年  
より)

患者視点でがん医療に求めること

### 望まれる医療連携システムの構築

— 退院後の空白を埋める医療 —

発表者： 緒方 真子  
神奈川県立がんセンター  
患者会「コスモス」世話人代表

入院日数が短くなった → 退院後の医療の空白

不安大

- ※辛い身体症状をかかえたままの退院
- ※再発や社会復帰への不安をかかえたままの退院
- ※民間療法、健康食品への戸惑い
- ※通院治療に伴う心身の負担大
- ※寄り添う医療、相談先が不在
- ※特に、一人暮らしの患者の不安は深刻

医療連携の必要性大

Ⅲ. 望まれる空白を埋めるシステム

退院と同時に、必要とする患者に自動的に届く医療連携

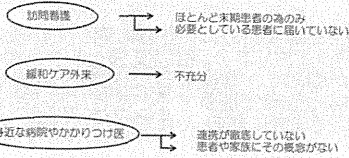
- ※ 訪問看護
- ※ 緩和ケア外来
- ※ かかりつけ医
- ※ 身近な病院

メリット ↓

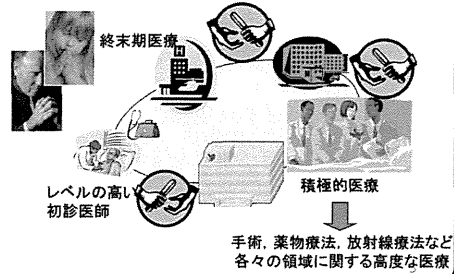
- ・短い入院期間への不安軽減
- ・社会復帰・自分復帰への支え
- ・自然な形で、終末医療へ

Ⅱ. 退院後の医療連携の現状

連携不十分



医療連携システムの構築



患者が求めるがん医療情報と相談の提供

声を聴き合う患者たち&ネットワーク「VOL-Net」  
代表：伊藤 朋子